

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU, OSAKA, JAPAN

2011年4月No.347

Chartered July 20, 1982

### 主 題 Y's THEME (2010~2011)

センテニアルクラブ会長 :『創造と協同、みんなの願いを前へ』 東京セントラルクラブ会長 :『ひとつとなって YMCAへ』

国際会長 : 『明日への橋を架けよう』 アジア地域会長 : 『心新たに立ち上がろう』

西日本区理事:『飛翔たとう ワイズスプリットを胸に』

中西部部長 : 『豊かに、そして拡がりのあるワイズライフを !!』

### **Biblical Message of April**

あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みのよい管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。

(ペトロの手紙第4章10節)

### 大震災にあたりワイズメンとして

坂本 哲朗

戦後生まれの私にとり、16年前に起きた阪神・淡路大震災より今回の東北地方太平洋沖地震が、生涯で、一番大きな出来事になってしまいました。この2週間は、職場では、仕事が手につかず、メールとインターネットを見ては、心の中で悲鳴を上げ、抑えようのない不安と恐怖を感じ、家に帰ればテレビで、被災者家族や悲しいニュースを見るたび、妻の千春と何度も涙ぐむ日々を過ごしました。幸いにして、我が家の親戚、友人は、西日本に住んでおり、そのことで、心を痛めるようなことはありませんでした。

地震に続き原発事故に関する情報は、病院関係者より、皆さんより、早く情報が入ってきます。未だに現場では、たいへんな状況は続いており心配しております。このブリテンが皆さんに届く時は、この問題が、ある程度終息していること、心より願って已みません。また被災地ではこれから長く、つらい生活が続きます。その復興を支える手だては様々にあるはずです。そのことをワイズメンとして、今後どのような取り組と支援ができるのかを今一度考えたいと思います。

皆さんを心配させるつもりはありませんが、次の 4 つの言葉の意味 の違いにつては、知っておいてください。

### 放射性物質と放射線

放射性物質は放射線の発生源。生物に害を与えるのは放射線。"

### 外部被ばくと内部被ばく

外部被ばくとは直接放射能を浴びること、怖いのは内部被ばく、放射性物質の微粒子を吸いこんだり、汚染された水や食物をとおして体内に取りこまれると、それらの放射性物質は、体内から放射線を浴びせつづける。

次回は高橋裕也さんです。

#### クラブ役員 Officers 長 新保 正秋 会 副会長 谷川 實 書 記 石津 雅人 正巳 藤原 会 計 山中ちあき メネット会長 Y連絡職員 鍛治田 千文

#### **April Club Meeting**

### 『YMCA サービス/ASF』

4 月 第 1 例 会

日時:2011年4月20日(水)18:30~20:30

場所:ホテルグランヴィア大阪 21 階

司会: 三浦 直之 君

1.開会点鐘新保 正秋 会長2.ワイズソング一 同3.聖句朗読福永 嘉彦 君4.ゲスト・ビジター紹介新保 正秋 会長

5.今月の強調活動 YMCAサービス、ASF

三浦 直之 君 一 同

6.晩餐 7.卓話「若者のトレンド 芸能文化科」

三上和久学校長 久下英孝学科長

 8.連絡・報告・ニュース
 各メンバーから

 9.誕生祝い・ニコニコ献金
 一 同

 10. 閉会点鐘
 新保 正秋 会長

大阪府立東住吉高等学校

### 3 月 第 2 例 会

日時:2011年4月27日(水)18:30~20:30

**場所**:土佐堀YMCA会館4階

**4 月のお誕生日 隅田恵子メ**ネット(13日)

### 例会担当

1班:大村、新保、田中、畠中、山田、山中、高橋 の各メン

### 【クラブ統計 Statistics 】

2011年3月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 22名 例会出席 18名 うちメーキャップ 0名 出席率 81.8%	メ メ メネット ビゲ ス 計	18名 7名 2名 1名 28名	11 名 0 名 0 名 11 名	3 月 280g 現 金 0円 切 手 7,737g 現 金 500円	3月: 24,600円 累計:177,809円

今年の復活祭(イースター)は非常に遅く、4月24日で、今は受難週を迎えています。主イエスが人間の罪を一身に背負って十字架にお架かりなった事に思いを致すとともに、私たちは神様より託された生命、天分、才能などをよき管理者として、神様のみ心のままに活かして用いたいものと思います。

聖句選/コメント: 福永 嘉彦

(次回は、山村利子さんです)

### 3 月第 1 例会

と き:2月16日(水)18:30~21:00 ところ:ホテル グランヴィア大阪 21階

3月11日に発生し、甚大な被害を生じ、なお収束がみえない「東日本大震災」は、今を生きる我々日本人にとって決して忘れることができない未曾有の天災。衝撃まださめやらない5日後に、みんなが集まれて例会をもつことができたことは幸いでした。

冒頭、不幸にして亡くなられた方々約8,000 人(安否不明は20,000 人にも及ぶ)に黙祷を捧げました。われわれワイズメンも、わが国の復興にできる限りの力を注いでいかねばならないとの思いを深くしました。

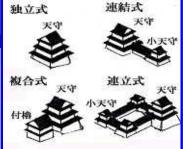
例会は、藤原ワイズの司会のもとに進行。今月の焦点は、芝田光雄さんの入会式。スポンサーは坂本メン。昨年のクリスマス例会で、著名なバンド"BACK WOODS MOUNTAINEERS"のリーダーとして、多彩なブルーグラスを聴かせていただいたことは記憶に新しいところです。ご入会は大変うれしいこと。今後ご一緒にワイズライフを満喫したく、歓迎いたします。



左:城郭研究家 高森 雅己 氏

下:資料の一部





卓話は、城郭研究家の高森雅己さん(藤原ワイズの友人)。「歴史を語る日本の城:天下人の城を巡る」と題して、日本の城の変遷を古代から徳川期まで説かれました。城は芸術作品でもある、との話に納得。城について 40 年にわたる研究をされているだけに、奥深いものがありました。

なお、土佐堀クラブの工藤、福永ワイズが来訪され、同クラブ 60 周年記念例会(5月21日)の紹介がありました。

(松浦 孝次)

### 3 月第 2 例会

と き:2月23日(水)18:30~20:30 ところ:大阪YMCA 土佐堀会館406教室 出席者 新保(会長)、山田、谷川、藤原、松浦、山中 鍛治田、坂本、三浦、大村、石津 (11名)

- ・3月の例会での反省点としてブリテンに記載のアサイメントが違っており例会の進行にスムーズに行かなかったので 今後は、要注意です。
- ・4月例会の確認が行なわれた。尚、4月のニコニコ献金は東 北関東大震災の義捐金としてクラブとして拠出することと なった。
- ・来年の落語会の開催について協議され、2月18日(土)か25日(土)のどちらかで調整することとなり場所は大阪YMCA土佐堀会館(従来通り)に決定された。
- ・5月例会のスピーカーは、吉野の農業学校の先生の卓話、6 月のスピーカーは園田大学副学長 福島昭治氏で「源氏物語」 の卓話をしていただくことになった。
- ・センテニアルクラブ創立30周年記念例会は2012年1 1月17日(土)に開催する事となった。
- ・6月に行なわれる西日本区大会の申し込みを4月20日までに新保会長までにされますように!
- ・5月14日(土)六甲YMCAで行なう予定のキックオフ例会の 出欠を「ぐるすけ」に登録されますように、登録期限は4月 10日となっています。
- ・クラブ会則に関しての協議が行なわれクラブの名称の由来について明記することや例会の時間など詳細について協議されましたが最終決定は5月14日(土)のキックオフ例会でなされる。当日は一人でも多くのメンバーの方が出席されますようにと祈念して第2例会の報告とします。

(石津 雅人)

POLK

# ymca====

### (1) 東日本大震災・東北地方太平洋沖地震

日本YMCA同盟では、仙台Yにスタッフを送り込み、何ができるか検討中です。今後、仙台Y・盛岡Y・茨城Yを拠点に中・長期的にできることをしていきたいと考えています。現在は、募金へのご協力をお願い申し上げます。みなさまからの募金は日本YMCA同盟を通して仙台・盛岡のYMCAやその他被災地の支援にあてられます。

お近くのYMCA または 三菱東京UFJ銀行 大阪為替集中支店 普通 0230050 財団法人大 阪キリスト教青年会 (通信欄に「東日本」と明記く ださい)

### (2) クリスマス献金報告

3月17日現在1,720,680円(618件) \*昨年1,992,385円(576件)ご協力ありがとうご ざいました

(3) 創立記念礼拝・会員大会

日時:5月28日(土)

礼拝:13:30~14:15 大会:14:30~16:00

(鍛治田 千文)

### 中東最近事情

### 谷川實

昨年9月、NY 訪問の機会に久しぶりにメトロポリタン美術館を訪問しました。主目的の一つにエジプト美術がありました。昨年初めにエジプト訪問以来、同国に魅せられています。神戸で開催されたトリノ・エジプト展、昔ロンドン訪問の折、度々訪れた大英博物館……どの美術館にも、本国を離れたエジプトの至宝が眠っています。いずれも本国のカイロ考古学美術館に勝るものです。



エジプトの考古学美術館

今回の NY メトロポリタン美術館の案内にも、「エジプト美術のコレクションは、エジプト本国を除いて現在、世界中で最も優れた、最も包括的なものである」(日本語版)と書いてあり、同館の一階の大きなスペースを割いて、4万点近い品々が展示されています。このようにおびただしい数のエジプトの至宝が、国外に流出しています。文明の発祥の国エジプト。有史前、三千年以上の長きにわたり栄えた国。しかし、その後は衰退に向かい、有史後の今日まで2千年にもわたり苦悩するこの国。なぜか疑問が湧いてきます。

昨年の夏、干ばつに襲はれたロシアでは穀物の輸出を禁止。 その結果、一番被害を受けた相手国は、なんとエジプトである ことを知りました。彼らの主食のパンの小麦がロシアからと エジプト訪問時、主な産業は農業と聞かされていました。 その農業国がなんと自給できていなかった、とは驚きでした。 そして、今回のカイロを中心の反政府デモをきっかけに、ムバ ラク大統領の退陣。私たちが訪れた考古学美術館(上の写真) の前でもデモがあり、美術品が破壊され、盗難に遭いました。 反政府デモを誘発した社会的背景には、ムバラク大統領の長期 独裁、長年の物価高騰に救われない貧困層、若年層の失業率の 高さなど、所得格差が主因だそうです。小麦価格の高騰も、そ の政変の一因とか。主な輸出産業もなく、歴史遺産を頼りの観 光産業が主な外貨収入源で、労働人口の8人に一人がこれに従 事しており、国内生産(GDP)の11%を占める、という事実 も知りました。願わくば、一日も速やかに社会の安定を取戻し、 海外の観光客を受け入れ、外貨獲得に役立てて欲しいものです。 3月25日、私の JICA の授業に出席したエジプトの研修生は、エジプ トの治安は回復した、安心して訪問してほしい、といっていました。

## 3 月 B F 報 告

鍛治田 ( 140g )、坂本・山田 ( 40g )、新保・藤原・ 松浦 ( 20g )

計280g





入会された芝田光雄さんと入会式辞を読み上げる新保会長



入会の挨拶をされる芝田光雄ワイズ

### Club Activities (March ,2011)

On March 16, our club s March meeting was held at Hotel Granvia Osaka, with a total of 23 Y s men, Y s menettes, and guests in attendance.

At the beginning of the meeting, we offered one minute prayer for those who perished or are still suffering from devastating East Japan Earthquake and Tsunami, which hit the area on March 11, 2011.

With its emphasis on EF/JWF activities this month, Y s man TETSURO SAKAMOTO briefed the meaning and purpose of the programs.

President MASAAKI SHINPO presided over the induction ceremony of Mr. MITSUO SHIBATA. He has become the 22<sup>nd</sup> member of our club. Welcome Mr. Shibata to our club. Let s work hand in hand and enjoy Y sdom together!

The highlight of the March meeting was the speech made by Mr. MASAMI TAKAMORI, representative of the Kansai Society for the Japanese Castle Research.

Showing interesting pictures and materials of many castles in Japan, he enthusiastically spoke about the history and structures of the Japanese castles, including those built by famous war lords such as ODA NOBUNAGA, TOYOTOM HIDEYOSHI and TOKUGAWA IEYASU.

Y s Men KAN TANIKAWA and SAM FUJIWARA reported their recent visit to Hong Kong. S.FUJIWARA had received warm reception by members of Hong Kong s Bauhinia Club.

Yen 24,600 was collected for the club s Niko-Niko (smiling) fund.

## THE OSAKA CENTENNIAL

## こ ニコニコ・メッセージ

【Messages from the Club Members 】

### ゲストからのメッセージ

久し振りにセンテニアルの例会にまいりました。相変わらず、和やかで、温かみある会に出会った思いです。 土佐堀の60周年例会(5月21日)に是非お越し下さい。 (大阪土佐堀クラブ 福永 勝)

久し振りにセンテニアルクラブさんの例会に出席できました。一日も早く東北が大震災から復興しますように! (大阪土佐堀クラブ 工藤 義正)

### 会員からのメッセージ

芝田光雄さんのご入会を感謝いたします。一緒にワイズライフを楽しんで行きたいと思います。(石津 雅人)東日本での大震災で被災された多くの人々に心よりお見舞い申し上げたいと思います。 (大村 筆)

遅れましてスイマセン (岡本剛介)

お城についてこんなに詳しく学ぶ機会はありませんでした。貴重な時間を有難うございました。(大畑 慎治)東日本震災のニュースには胸が痛みます。原発の被害が最小限で済みますようただ祈るばかりです。

(鍛治田 千文)

本日は芝田さんが入会されて嬉しいです。又、バンド 演奏聴かせて頂きたいです。 (坂本 千春)

大地震の福島原発のことを心配しています。4月の例 会の時はこの問題が解決していることを心から願わず にはいれません。 (坂本 哲朗)

奇しくも東日本大震災という年月に入会させて頂き、 余生、余命をボランティア活動に微力ですが努めさせて 頂きます (芝田 光雄)

東北大震災の被災者の方々にお見舞を申し上げます。 私の知人も千葉、仙台、弘前、長野にいますが、お蔭様で元気です。芝田光雄さんの入会おめでとうございます。 バッジは今度お渡しします。宜しくお願いします。高森さんの話をもっと聞きたかったです。 (新保 正秋)

芝田さんが入会され、又メンバーが増えて嬉しいです。 高森さんのお城の話、興味深く伺いました。そして、東北地方の大災害が早くおさまり復興される事を祈っております。 (隅田 恵子)

東北の復興が少しでも早まるように願います。

(高橋 裕也)

日本のお城の話、興味深く聞きました。 (谷川 寛)娘のギリシャ旅行が無事でありますように。

(中村 幸枝)

今日、入会されました芝田様おめでとうございます。 大震災の被災者の方々を思うと心が傷みます。天下人の 築いた日本の城の話、私にとっては珍しく面白く聞かせ て頂きました。 (福永 嘉彦・滋子) 3月例会は重苦しい雰囲気の中で始まりましたが、芝田さんのご入会もあり大変心嬉しい例会となりました。 芝田さん、これから私達と共にワイズを楽しみましょう。

(藤原 正巳)

芝田さんのご入会おめでとうございます。とても嬉しいです。お城の変遷、興味深く聞かせて戴きました。

(松浦 和子)

東北大震災による被害が想像を絶するものであり心を痛める毎日です。なんとか早く収束し復旧が始まることを祈るばかりです。芝田さんのご入会を心から歓迎します。これからご一緒にワイズライフを楽しみたく存じます。 (松浦 孝次)

大変興味深いお話でした。城の構造など細やかに分かりやすく卓話いただき有難うございました。(松田 明久)今こそ東北沖地震に負けず一人一人が頑張りましょう。芝田様、入会おめでとうございます。一緒にワイズライフを楽しみましょう。 (三浦 直之)

「東日本大震災」のTVを見て、自然の力のすごさにただただ脅威をおおぼえています。微力ながら少しでもお役に立てたらと思います。YMCAでもYsでも日ごろの奉仕精神の一端を発揮できる様みんなで考えましょう。 (山田 孝彦)

一日も早く被災した方々に平安が訪れますよう。

芝田さん御入会おめでとうございます。 (山中 ちあき) 芝田光雄さんの入会を祝して!! 高森雅巳さんの城郭の話、大変興味深く有益でした。感謝します。

(山中 秀男)

震災のために自分は何をすべきか考えなければいけないと思っています。 (山村 利子)

### 後記

東北関東大震災の被災者の方々にお見舞を申し上げます。地震と津波と放射能という三つの災害で阪神大震災の時とは状況も規模も違っている中で、私が行っている教会の教会員で福島出身の男性は妹が身重なので心配だからといって支援物資を車に積んで現地に出掛けたのですが途中で燃料が無くなり、補給も出来ない状態となって大阪に連絡をしてきました。そこで自動車の修理工をしている教会員が燃料を積んで現地に赴きましたが、彼は燃料メーターが一目盛り減るごとに給油をしながら行ったそうです。積極的な行動は良いのですが状況判断を誤るとこのような失敗をしてしまうものです。

私たちは出来る限りの支援を永続的にしていくと共 に「明日は我が身で!」、災害に対する備えもしておき たいものです。

(石津 雅人)